



けいせん

2011.10.31



お誕生日はとってもうれしい日。子どもたちは指折り数えて自分のお誕生日を待っています。今年の秋、恵泉幼稚園は80回目のお誕生日を迎えました。これまで恵泉幼稚園を巣立っていった卒園生は3,877名。その一人ひとりが幼稚園で神様を知り、お祈りを覚え、好きな遊びを思いっきり楽しむ。友だちと笑って泣いてけんかして喜んで過ごしたことでしょう。そこには、子どもたち、保護者の方々、教職員、教会の方々のたくさんの思いが詰まっています。

80周年を覚えて、「おめでとう ようちえん」をテーマにして、運動会や記念講演会、記念礼拝など様々な行事が行われています。喜びと感謝でいっぱいのお秋です。でも、この時をお祝いできるのは、これまでの積み重ねがあってこそ。一日一日を大切に、一年一年を大切にしてきたからこそ、80周年を迎えられるのだと思います。だから、特別な感謝をもちつつも、この一年もいつも通りに丁寧に、日々を過ごしていきたいと思えます。子どもにとっては、いつでも大切な今。大切な今を過ごす一人ひとりを大切にする保育を続けていきたいと、改めて思っています。

さて私が恵泉幼稚園に勤め始めて1年目、初めての家庭訪問のこと。ある保護者の方がやさしい笑顔で「先生、いい幼稚園に就任されたね」と声をかけてくださったことが忘れられません。保護者からこんなに愛されている幼稚園を過ごせること：うれしさを感じました。その当日と比べると、1台しかなかったバスは2台・6ルートになり、預り保育が始まり、お弁当給食も導入と、その時には考えられなかった変化があります。社会の変化に応じて、子どもたちのために更に良い保育を行うために変わり続けてながら、80年の歩みの中で創立当初から行われてきた一人ひとりを大切に、目に見えないけれど大切なことに目を注ぐ変わらぬ保育を行う「変わりゆく変わらない恵泉幼稚園」として、これからも祈りながら歩んでいきたいと思っています。

恵泉幼稚園は、子どもたちも、保護者の皆様も教員も共に育ち歩んでいく「祝福に満たされたこころ育む幼稚園」です。